

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】特開 2001-234395 (P2001-234395A)  
 【公開日】平成 13 年 8 月 31 日 (2001.8.31)  
 【出願番号】特願 2000-50949 (P2000-50949)  
 【国際特許分類】

**C 2 5 D 7/12 (2006.01)**  
**C 2 5 D 5/04 (2006.01)**  
**C 2 5 D 5/08 (2006.01)**  
**C 2 5 D 17/06 (2006.01)**  
**C 2 5 D 21/04 (2006.01)**  
**H 0 1 L 21/288 (2006.01)**

【F I】

C 2 5 D 7/12  
 C 2 5 D 5/04  
 C 2 5 D 5/08  
 C 2 5 D 17/06 C  
 C 2 5 D 21/04  
 H 0 1 L 21/288 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 3 月 5 日 (2007.3.5)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ウェハークランプとウェハー支持具とにより、めっき対象面を下向きにして保持されたウェハーを、めっき槽内のめっき液に浸漬させて、ウェハーを回転させながらめっき処理を行うウェハーめっき装置において、

前記ウェハー支持具は、その下端が内方へ突出し、ウェハーのめっき対象面の全周縁を支持する延設領域を有するウェハー支持部を備えており、

さらに、前記延設領域には、めっき処理面下部のめっき液に接する複数の溝が設けられたことを特徴とするウェハーめっき装置。

【請求項 2】

前記複数の溝は、櫛歯状に形成されたものである請求項 1 に記載のウェハーめっき装置。

【請求項 3】

前記複数の溝は、螺旋溝である請求項 1 に記載のウェハーめっき装置。

【請求項 4】

前記複数の溝は、案内板により形成されたものである請求項 1 に記載のウェハーめっき装置。

【請求項 5】

ウェハーのめっき対象面の周縁に向けて、めっき液を強制的に供給するようにした液供給ノズルをめっき槽内に設けたものである請求項 1 ～ 請求項 4 のいずれかに記載のウェハーめっき装置。

## 【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

具体的には、図９に示すようなウェハーめっき装置で、ウェハー４のめっき対象面５を下向きにしてウェハー４を保持するウェハークランプ６と、めっき対象面５の周縁を全周に渡って支持できるようになっているウェハー支持具７と、めっき液を上部開口からオーバーフローしながら循環できるようになっているめっき槽２とを備えおり、ウェハークランプ６とウェハー支持具７とによりウェハー４を挟持した状態で、めっき対象面５を下向きにしてめっき液面に接触させながらめっき処理を行うようになっている。より詳しく言えば、ウェハー支持具７の下端には、ウェハー４を支持するウェハー支持部１０がある。そして、ウェハー支持部１０は、図９に示すように、ウェハー４のめっき対象面５の全周縁を支持するために、内方に突出した延設領域がある。